

MSTC 64 ORTF: ステレオ・システム

MSTC 64 ORTF 方式 ステレオマイクロフォン:

ホール設備で定番のステレオマイク。ORTF ステレオ收音テクニックを提供します。マイクロフォンはT型ボディに固定され、ボディには2つのマイクロフォンアンプが内蔵されています。カプセルは特性をそそえた Collette モジュラーシステムの MK 4g で、カプセルを取り外して CMC モジュラーシステムとして御利用いただけます。カプセルは 110°の角度で、17cm 離れて固定されております。セッティングをする場合、ステレオ開角度 95°以内に音源が入るのがベストポジションです。



同梱されるアクセサリ:

- ◆ SG 20 スタンドクランプ
- ◆ ウッドケース

MSTC64 の特長:

カプセル MK 4 を2つ装着したアンプ内蔵の MSTC 64 は、ORTF 收音に最適な製品です。MSTC 64 なら、マッチングのとられたコレット・カプセル(証明書付き)のセットで提供されます。出力コネクター形状は、キャノン XLR-5-12C タイプで、表面色は、マットグレー(g)仕上げ、もしくはニッケル(ni) から選べます。

- ◆ ORTF 技法による録音用
- ◆ 良好なステレオイメージ
- ◆ 広い録音用途
- ◆ 12V/48V ファンタム電源
- ◆ マトリクス回路は不要



マッチングの取られた MK 4 カーディオイド・カプセル。

ORTF とは :

ORTF とは2つのカーディオイド・マイクロフォンを使い、レベル差とオーディオ到達時間差をキャッチするステレオ録音方式です。ORTF レコーディング方式は、1960年に当時のフランス国営放送で開発され、Office de Radiodiffusion Television Francaise の頭文字から由来しています。

もし CMC セットをお持ちなら...

もし、2セットの CMC マイクプリアンプと MK 4 カプセルを既にお持ちの場合は、ORTF マウンティングバー (STC 4) とエクステンションケーブル (KC) を用いて ORTF 方式をご利用いただくこともできます。

A20 S



実際のアプリケーションでは、同梱の SG 20 スタンドクランプではなく、**A20 S** エラスティック・サスペンションをお勧めします。やや堅めなサスペンション機構の **A20 S** は重量のある **MSTC 64** をしっかりホールドすることができます。

	MSTC 64 U
Directional pattern	cardioid (2× MK 4)
Recording angle	95 °
Frequency range	40 Hz - 20 kHz
Sensitivity	13 mV/Pa
Equivalent noise level (A-weighted)	15 dB-A
Equivalent noise level (CCIR)	24 dB
Signal-to-noise ratio (A-weighted)	79 dB-A
Maximum SPL	132 dB-SPL
Maximum output voltage	1 V
Output impedance	35 Ω
Minimum recommended load impedance	600 Ω
Powering	12 V ± 1 V or 48 V ± 4 V phantom
Current consumption	4 mA per channel, independent of the supply voltage
Weight	230 g
Output	XLR-5M

接続ケーブル :

AK SU/2U は、MSTC64 からの出力をミキサーやレコーダーに接続するためのケーブルです。XLR-5F を2つの XLR-3M に変換し、ケーブル長は0.5m です。



延長ケーブル :

KS 5 U は、長さ 5m の XLR-5 延長ケーブルです。10m 長の KS 10 U や 20m 長の KS 20 U など異なる長さも対応できます。



ポップ・スクリーン :

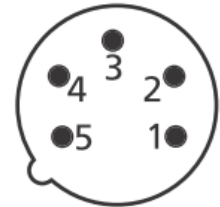
B 5 D は、MK4 カプセルにかぶせるタイプのウィンド・スクリーンです。



ピンスケジュール :

MSTC 64 ステレオマイクロフォンの出力コネクターは XLR-5M です。ミキサーやレコーダーのバランス入力に接続するために、左チャンネル用と右チャンネル用に分岐ケーブルが必要となります。

- Pin 1: screen (GND)
- Pin 2: +phase left channel
- Pin 3: -phase left channel
- Pin 4: +phase right channel
- Pin 5: -phase right channel



Bottom view
(as the pins are seen)

マイク・セッティング :

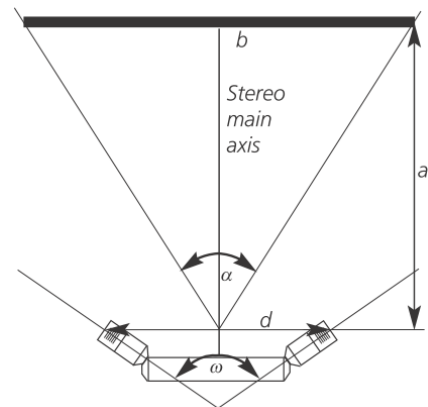
マイク・セッティングは、レコーディングアングルの 95°に内側に音源が入るようにセッティングするだけです。しかし、最適なステレオイメージをキャプチャーするには、音源とマイクロフォン位置を考慮に入れる必要があります。

角度について

リスニング環境で、再生スピーカーとリスナーの角度が 60°に想定される場合、レコーディングターゲットも同じ角度にあることが理想です。

距離について

アンサンブルの規模が大きい場合は、マイクロフォン位置を舞台から離すと良い結果が得られます。例えば、舞台上で左右 10m に渡って楽器が配置される場合、舞台から 4.6m 離してマイキングすると良好なステレオ感を得ることができます。右の表を参照していただくとわかるように、マイキング・ディスタンス(図の a)は、楽器配置距離(図の b) の約半分 (正確には 46%) に相当するので、これを目安にマイキングされると良いでしょう。



b	a
2 m	0,9 m
3 m	1,4 m
4 m	1,8 m
5 m	2,3 m
6 m	2,7 m
7 m	3,2 m
10 m	4,6 m
15 m	6,9 m
20 m	9,2 m

